



沢田知事（うしろ向き）に陳情する水俣病未認定患者代表

一日も早く認定を

水俣
病

未認定患者、知事に陳情

環境庁から「差し戻し」裁決を受けた水俣病未認定患者の川本輝夫さん（61）水俣市月の浦一ら五人が九日、沢田知事をたずね、「今月中に認定してほしい」と陳情した。また水俣病を告発する会（本田啓吉会長）水俣病市民会議（日吉フミコ会長）の会員二十数人も患者とともに助勢、県の姿勢をただす質問書と要求書を提出した。川本さんは、「われわれは長い間、水俣病で苦しんできた。一日も早く認定されることを望んでいる」と訴え、今月中にぜひ結論を出してほしい、そのさい保留になっている患者も含めて審査してほしいと陳情した。

これに対し沢田知事は「みなさんの気持ちには十分わかる。希望に沿うよう努力する。しかし方針が変わった点について審査会の納得を得なければならぬので、今月中に結論を出すかどうかは約束できない」と答えた。

また水俣病を告発する会の本田会長らは、質問書と要求書を提出し、県がこれまでとってきた水俣病に対する姿勢を追及した。沢田知事はこれについて、遺憾の意を表明したが、これを不満とする会員は「態度を委ねることで、責任をのがれようとしている」「これまでの懲罰的傲慢と誤りはどうするののか」ときびしく追及した。

沢田知事も最初はこれにいていねいに答えていたが、激しい追及に「だから反省の意を表明したではないか。どのように言ったら気がすむのか」「そのようなあけ足取りには、答えられない」と激しくやりかえすなど、一時対立する場面もあった。

はカナダ国会の招待で親鶴訪問するもので、ラムロー下院議長、デシャトレ上院議長ら国会議員や政府要人と懇談、各地を視察する。